

4つの色は
専門分野を
表しています

経済学
社会学
法学・政治学
メディア・コミュニケーション学

科目区分	科目名付クラス名	配当年次	科目の概要、キーワード
公共(一年必修)	入門演習 A～H	1	大学での学習を円滑に進めるために必要となる文献の読解やまとめ方、文章の書き方、プレゼンテーション技術などの基礎知識や技術を様々な文献の精読や発表を通じて学ぶ
公共(一年必修)	公共市民学I-1(公共圏とメディア)	1	公共の原基とメディアの役割を理解する
公共(一年必修)	公共市民学I-2(公共圏と親密圏)	1	公共圏と親密圏をキーワードに社会の成り立ちを考える
公共(一年必修)	公共市民学II-1(市場と市民)	1	「市場」とそれを構成する「市民」の行動原理について、ミクロ・マクロ経済学双方の視点から学ぶ
公共(一年必修)	公共市民学II-2(記憶と記録)	1	公共圏において「過去」が持つ政治的意味を分析する
公共(一年必修)	公共市民学III-1(法と政治)	1	法と政治の相互作用について学ぶ
公共(一年必修)	公共市民学III-2(法を通じた公共圏形成)	1	現在の法システムの性格を確認しつつ、変革の必要性、可能性そして展望を探る
公共(一年必修)	経済学概論I	1	正統派経済学と呼ばれるミクロ経済学の構造と概論について講ずる
公共(一年必修)	法学概論I	1	種々の法制度について事例に触れながら学ぶ
公共(一年必修)	法学概論II	1	家族、労働、刑罰、環境の側面から実定法を学ぶ
公共(一年必修)	政治学概論I	1	デモクラシーの理念と現実の差異について考察する
公共(二年必修)	政治学概論II	2	政治学概論Iで学んだ差異を小さくするための制度設計と市民育成について考える
公共(二年必修)	経済学概論II	2	ケインズの『一般理論』を通して、マクロ経済学の概要理解に努める
公共(二年必修)	社会学概論I	2	社会学の枠組みを理論を中心に概説・検討する。
公共(二年必修)	社会学概論II	2	社会学の広がりやを主要な対象とトピックを中心に概説・検討する。
公共(二年必修)	哲学概論 I	2	「正しさ」の哲学的基礎について学ぶ
公共(二年必修)	哲学概論 II	2	哲学概論Iを基礎に、公共哲学のいくつかの重要なテーマについて考える
公共(三年必修)	ゼミナールI(経済学) A	3	企業戦略などをデータを使って明らかにする方法を学ぶ
公共(三年必修)	ゼミナールII(経済学) A	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(経済学) B	3	経済の動態現象と企業の役割について、理論と実証の両面から考える
公共(三年必修)	ゼミナールII(経済学) B	3	

公共(三年必修)	ゼミナールI(経済学) C	3	ファイナンス理論を学び、経済現象について金融の面から考える
公共(三年必修)	ゼミナールII(経済学) C	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(経済学) D	3	労働経済学・応用ミクロ経済学をテーマにデータを用いた検証方法を学ぶ
公共(三年必修)	ゼミナールII(経済学) D	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(政治学) A	3	政治思想史・政治理論を中心に、広く政治や社会に関する著作を読み議論する
公共(三年必修)	ゼミナールII(政治学) A	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(政治学) B	3	現代の政治社会、政治経済に起きている現象とその要因を探究する。
公共(三年必修)	ゼミナールII(政治学) B	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(政治学) C	3	「憲法問題」に自分なりの答えを探す
公共(三年必修)	ゼミナールII(政治学) C	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(法律学)	3	ecology,feminism,socialismの視点から法と法学を考える
公共(三年必修)	ゼミナールII(法律学)	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(ジャーナリズム論)	3	社会問題とジャーナリズムの役割を、取材と記事執筆・ゼミメディア掲載、ジャーナリストとの討論から学ぶ
公共(三年必修)	ゼミナールII(ジャーナリズム論)	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(放送学)	3	現代メディア論、メディア文化研究について学ぶ
公共(三年必修)	ゼミナールII(放送学)	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(社会学) A	3	時間と空間から社会と社会学を考える
公共(三年必修)	ゼミナールII(社会学) A	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(社会学) B	3	自分の力で「社会」を調べ、考えるための様々な方法を体得する
公共(三年必修)	ゼミナールII(社会学) B	3	
公共(三年必修)	ゼミナールI(政治教育学) C	3	ヨーロッパの事例を中心に政治教育学の基礎を学ぶ
公共(三年必修)	ゼミナールII(政治教育学) C	3	
公共(四年必修)	ゼミナールIII(経済学) A	4	企業戦略などをデータを使って明らかにする方法を学ぶ
公共(四年必修)	ゼミナールIV(経済学) A	4	
公共(四年必修)	ゼミナールIII(経済学) B	4	経済の動態現象と企業の役割について、理論と実証の両面から考える
公共(四年必修)	ゼミナールIV(経済学) B	4	
公共(四年必修)	ゼミナールIII(経済学) C	4	ファイナンス理論を学び、経済現象について金融の面から考える
公共(四年必修)	ゼミナールIV(経済学) C	4	
公共(四年必修)	ゼミナールIII(経済学) D	4	労働経済学・応用ミクロ経済学をテーマにデータを用いた検証方法を学ぶ
公共(四年必修)	ゼミナールIV(経済学) D	4	
公共(四年必修)	ゼミナールIII(政治学) A	4	政治思想史・政治理論を中心に、広く政治や社会に関する著作を読み議論する
公共(四年必修)	ゼミナールIV(政治学) A	4	

公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(政治学) B	4	現代の政治社会、政治経済に起きている現象とその要因を探究する。
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(政治学) B	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(政治学) C	4	「憲法問題」に自分なりの答えを探す
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(政治学) C	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(法学)	4	ecology,feminism,socialismの視点から法と法学を考える
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(法学)	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(ジャーナリズム論)	4	社会問題とジャーナリズムの役割を、取材と記事執筆・ゼミメディア掲載、ジャーナリストとの討論から学ぶ
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(ジャーナリズム論)	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(放送学)	4	現代メディア論、メディア文化研究について学ぶ
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(放送学)	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(社会学) A	4	時間と空間から社会と社会学を考える
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(社会学) A	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(社会学) B	4	自分の力で「社会」を調べ、考えるための様々な方法を体得する
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(社会学) B	4	
公共(四年必修)	ゼミナールⅢ(政治教育学) C	4	ヨーロッパの事例を中心に政治教育学の基礎を学ぶ
公共(四年必修)	ゼミナールⅣ(政治教育学) C	4	